

山西っ子



▲ 体育館での体位測定の様子。「ソーシャルディスタンス」です。

令和2年6月3日(水) no.9 文責: 上田

あるラジオ番組の話題 子どもたちの疑問に答える

先日、あるラジオ番組で、こんな話題が放送されていました。本校の事例でないことはお断りしておきます。

▷ (登校日)先生を見て、ある子が「ぼくたち感染してるの?」と声を上げた。

実は → 治療にあたる医師らと同じような”フェイスガード”を付けた先生の姿に驚き、自分たちが感染しているのかと勘違いした。

▷ 公園で一人遊んでいた子が大人から「どうして外で遊んでいるの」「マスクをするように言われなかった」と注意をされた。

実は → ほとんど誰もいない昼間の公園、親から体を動かしてくるように言われて公園にやってきた。

上の事例の他にも、番組では「子どもが人の目を気にするようになった」などの、親の声も寄せられていました。

学校が再開しても、「新しい生活様式」が言われる中で、子どもたちは、いろんなことに疑問を持つようです。「どうして給食時間は同じ向きで、だまって食べなくちゃいけないの」「勉強中、班で話し合っちゃいけないの」「行事がなくなるのはつまらない」など……これまでの当たり前がどうして変わるのかが疑問なのです。もちろん、「新しい生活様式」で変わったこと、変わ



▲ 静かな給食風景

らないことがあります。変わったことに目が向きやすいのですが、この機会に、変わらなかったことも含め、どうしてそうするのか、子どもたちの行動規範を考えてみる必要があるようです。変わったことに戸惑っている子どもたちには、私たち大人はできるだけの説明をしなくてはならないと思います。

本校では、今週を学校再開後の「体慣らし」「心慣らし」期間だと考えています。生活リズムを整えること≡基礎体力をつけることでもあります。日々の学校での集団生活で必要なルールについても学ぶことが大切です。ご家族のご理解ご協力をお願いします。



▲ 整然とした下駄箱はいつも通り